



医師を対象とした災害医療研修（セクション1） アンケート結果



◆ 受講者数

医師会	安芸郡・香美郡・土佐長岡郡 (安芸会場)	安芸郡・香美郡・土佐長岡郡 (南国会場)	幡 多	合 計
受講者数	19人	26人	24人	69人
うち、医師	3人	9人	11人	23人

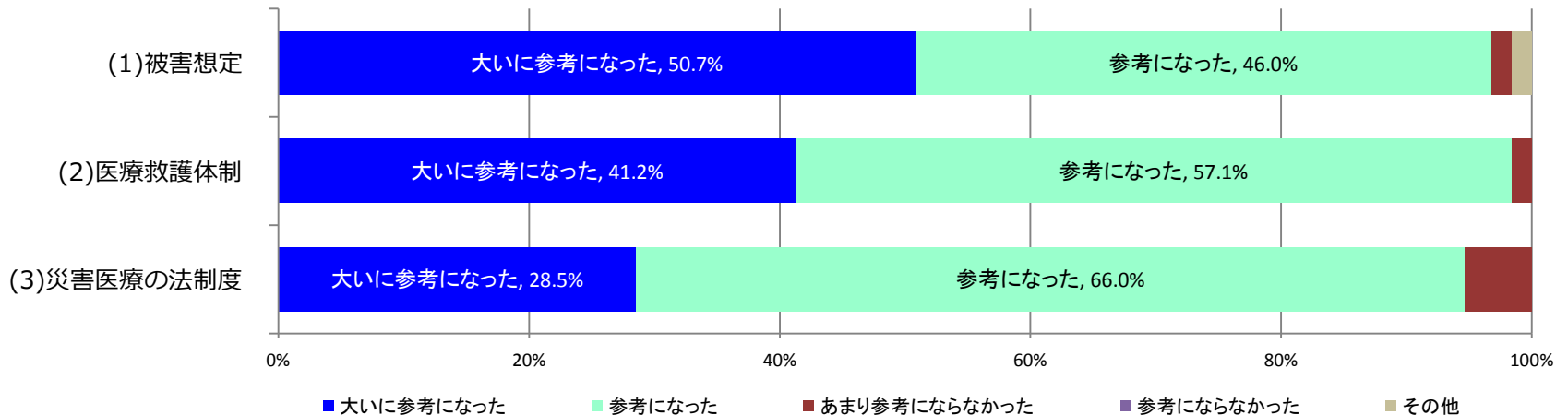
◆ アンケート 回答率 91.3% (63/69)

Q1 職 種：医師 20人 (31.7%)、看護師・准看護師 16人 (25.3%)、理学療法士4人 (6.3%)、
作業療法士3人 (4.7%)、放射線技師3人 (4.7%)、事務職 11人 (17.4%)、その他6人 (9.5%)

Q2 年齢層：20代 3人 (4.7%)、30代 12人 (19.0%)、40代 17人 (26.9%)、50代 15人 (23.8%)、
60代 14人 (22.2%)、70代～ 2人 (3.1%)

Q3 昨年度研修の参加有無：参加した25名 (39.7%)、参加していない38名 (60.3%)

Q4 研修内容について



Q5 南海トラフ地震に備え、どのような知識（情報）や体験があればいいと思うか（上位5項目）

地域の関係機関が参加する防災訓練	37人
市町村の防災計画	33人
災害時の情報通信技術	32人
南海トラフ地震に関する最新の知見	25人
被災地の医療従事者の体験談	29人

※その他具体的回答
「初動体制の確認と周知」、「EMISの活用方法」など

Q6 その他意見や要望

- ・総力戦の必要性が確認できた。（50代その他）
- ・研修においてスライドが長かったが、何度も確認できるように資料としていただきたい。（30代事務職員）
- ・開催時間を昼間に時間をかけて実施した方がわかりやすいと思う。（40代その他）
- ・過去の震災の際に、薬の入手方法や患者へどのように提供されたのか知りたい。（30代作業療法士）

◆研修の様子



医師を対象とした災害医療研修（セクション2） アンケート結果



◆ 受講者数

医師会	安芸郡・香美郡・土佐長岡郡 (南国会場)	吾川郡	高岡郡	幡多	合計
受講者数	12人	24人	14人	11人	61人
うち、医師	10人	9人	11人	7人	37人

◆ アンケート 回答率 88.5% (54/61)

※ 医師以外の職種については、医師に帯同する場合のみ受講を認めた。
いずれの会場も、原則として定員を30名とした。

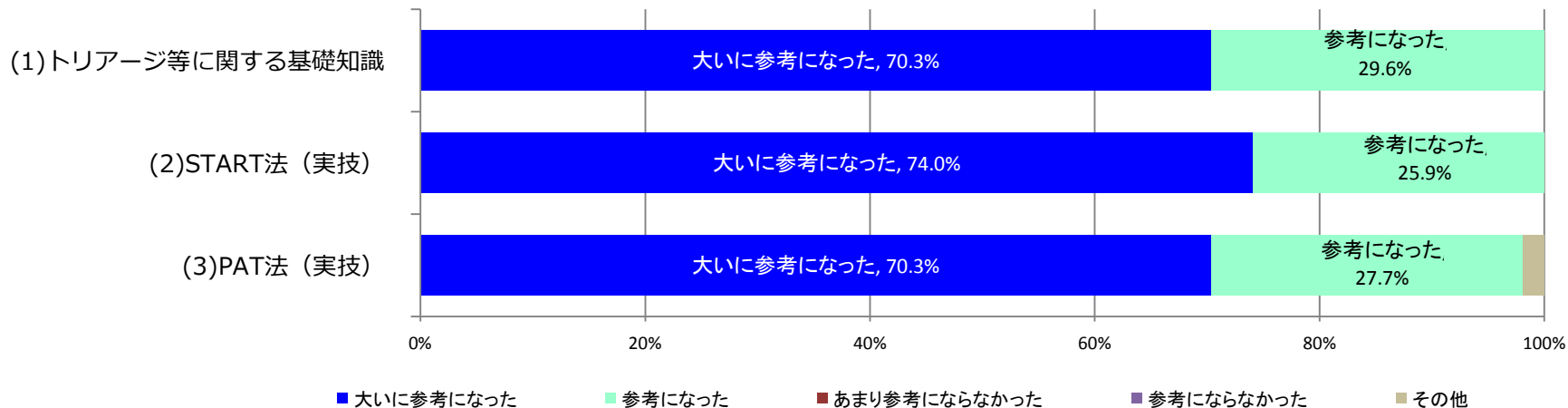
Q1 職種：医師 32人 (59.2%)、看護師・准看護師 20人 (37.0%)、その他 2人 (3.7%)

Q2 年齢層：20代 2人 (3.7%)、30代 8人 (14.8%)、40代 14人 (25.9%)、50代 13人 (24.01%)、
60代 8人 (14.8%)、70代～ 9人 (16.7%)

Q3 セクション1は受講しましたか：受講した 11人、受講しなかった 12人、無記入 31人 (2会場では設問しなかったため)

Q4 昨年度もこの研修に参加しましたか？：参加した 25人 (46.3%)、参加していない 28人 (51.8%)、

Q5 研修内容について



Q 6 実技研修のグループの人数について
「ちょうどよかった」 (94.5%)

※実技研修のグループ分け

トリアージの実技研修については、受講者を**1グループ当たり2～4人程度**に分けて実施した。各グループにDMAT隊員をファシリテーター及び傷病者役として1名ずつ配置し、指導にあたった。

Q 7 研修時間について

「長かった」 (3.7%)、「ちょうどよかった」 (94.5%)、「短かった」 (1.8%)

※研修時間

研修時間は、全体で2時間（講義：約20分、実技：約90分）

Q 8 自由記載（抜粋）

- ・実技を含め、実施に則した話が聞けて良かった。（50代 医師）
- ・具体的にいくつかのパターンをトリアージ出来て指導もして頂き大変勉強になった。（40代 看護師）
- ・災害に備え今日の研修を役立てたい。（60代 看護師）
- ・トリアージの流れが分かってよかった。（40代 看護師）
- ・PAT法になるとN.S、Drになる。START法をしっかりと覚えていきたい。（40代 その他）
- ・以前と同じ内容だったが、毎年1回は復習してもいいと思う。（40代 医師）
- ・看護師にとっても分かりやすかった。（20代 看護師）

◆研修の様子



医師を対象とした災害医療研修（セクション3） アンケート結果



◆ 受講者数

医師会	安芸郡・香美郡・土佐長岡郡 (南国会場)	吾川郡	高岡郡	幡多	合計
受講者数	18人	21人	13人	30人	82人
うち、医師	10人	10人	11人	8人	39人

※ 医師以外の職種については、医師に帯同する場合のみ受講を認めた。
いずれの会場も、原則として定員を30名とした。

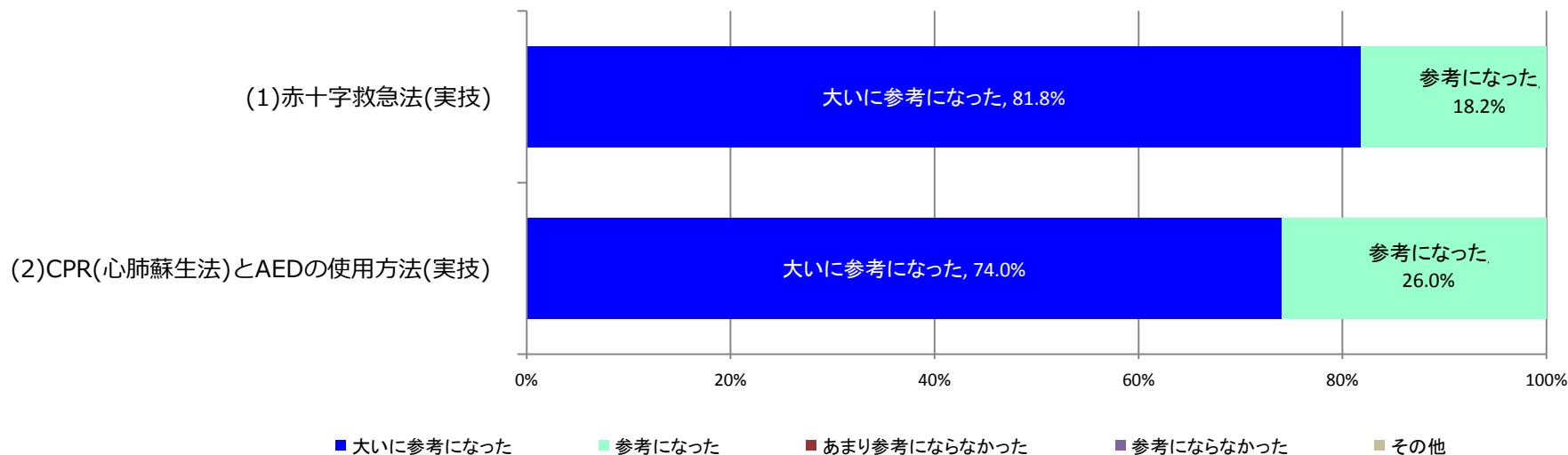
◆ アンケート 回答率 95.1% (78/82)

Q1 職種：医師 39人 (50.0%)、看護師・准看護師 33人 (42.3%)、その他 6人 (7.7%)

Q2 年齢層：20代 2人 (2.6%)、30代 12人 (15.4%)、40代 24人 (30.8%)、50代 20人 (25.6%)、
60代 12人 (15.4%)、70代～ 8人 (10.2%)

Q3 これまでに受講したセクション：セクション1 16人、セクション2 41人、

Q4 研修内容について



Q 6 研修時間について

「長かった」 (9.1%)、「ちょうどよかった」 (89.6%)、「短かった」 (1.3%)

※研修時間

研修時間は、全体で2時間（講義：約60分、赤十字救急法の実技：約60分）

Q 7 自由記載（抜粋）

- ・半周固定、三辺テーピング、シーツラッピングの実習をお願いしたいです。（50代 看護師）
- ・以前に一度講習を受けましたが、やはり繰り返し訓練しないと忘れてしまっていました。
繰り返し講習を受けていきたいと思います。（40代 看護師）
- ・2回参加させていただき、顔を覚えて下さる方も増え、とても楽しくすごせました。（40代 医師）
- ・実技中心の研修で楽しく学ぶことができました。明日からすぐに使えるようなスキルが多く勉強になりました
（20代 看護師）
- ・応急手当法は忘れがちなので、何度聞かせてもらってもよいと感じる。（60代 医師）
- ・三角巾とラップの使い方は今後も使えるように練習していきたい。（20代 看護師）
- ・勉強(実習)した事はあるけれど、実際に病院外でした事はなく、定期的にしていきたいと思いました。
（50代 看護師 ほか）

◆研修の様子



医師を対象とした災害医療研修（セクション4） アンケート結果



◆ 受講者数

医師会	安芸郡・香美郡・土佐長岡郡 (南国会場)	吾川郡	高岡郡	幡多	合計
受講者数	11人	15人	13人	19人	58人
うち、医師	8人	10人	12人	12人	42人

※ 医師以外の職種については、医師に帯同する場合のみ受講を認めた。
いずれの会場も、原則として定員を30名とした。

◆ アンケート 回答率 93.1% (54/58)

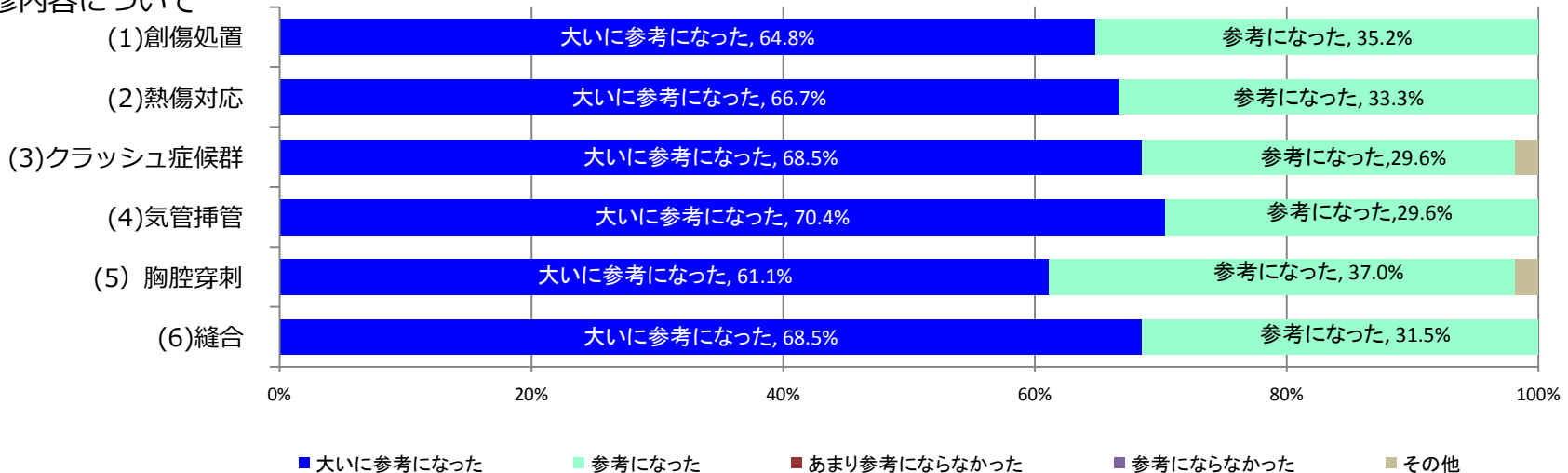
Q1 職種：医師 38人 (70.4%)、看護師・准看護師 15人 (27.8%)、その他 1人 (1.8%)

Q2 年齢層：20代 1人 (1.8%)、30代 8人 (14.8%)、40代 13人 (24.1%)、50代 17人 (31.5%)、
60代 7人 (13.0%)、70代～ 8人 (14.8%)

Q3 これまでに受講したセクション：セクション1 15人、セクション2 40人、
セクション3 37人

* セクション1受講人数については、2会場で配布したアンケートにはセクション1の項目がないものとなっていたため少なくなっている

Q4 研修内容について



Q 5 研修時間について

「長かった」 1人 (1.9%)

「ちょうどよかった」 53人 (98.1%)

※研修時間

研修時間は全体で2時間

Q 6 来年度の災害医療研修について、希望する研修内容など

- ・災害現場での応急処置の仕方 (30代医師)
- ・これまでの内容を反復開催して欲しい (70代医師)
- ・骨折のシーネ固定 (60代医師)
- ・トリアージの実技 (50代看護師)

Q 7 災害医療研修全体 (セクション1～4) を通じて気付いたことなど (自由記載)

- ・最新の情報もあり良かった。(50代その他)
- ・顔を合わせていく事が何よりも大切と痛感した。(40代医師)
- ・定期的に開催して欲しい。(40代医師)
- ・同じ内容でも何度か開催して欲しい。(40代医師)